

「防災トイレフォーラム2026 in 四日市」のご案内

全員参加で取り組むトイレ対策、災害時のトイレの備えから使用・管理・処理までを考える

この度、特定非営利活動法人日本トイレ研究所は、地方公共団体のトイレ対策に役立つ情報を共有する事を目的とした「防災トイレフォーラム2026 in 四日市」を開催いたします。

災害時のトイレ対策は、迅速にトイレ環境を確保し、誰もが安心して使用できるように配慮する必要があります。備えや対策が十分でないと、不便・不快なトイレでの排泄を避けるために水分摂取を控えるなど健康被害を招くことにつながります。

トイレは“モノ”を確保、設置して終わりではありません。利用者が快適に使用を継続するためには、清掃や給水・汲み取りなどの維持管理が不可欠です。また、排泄物には感染症を引き起こす菌やウイルスが含まれている場合もあるため、発生したし尿やごみは適切に管理し、速やかに回収、処理・処分する必要があります。そのためには、関係部局間の連携はもちろん、利用者にも正しい使用方法や運用を理解いただく必要があります。

本フォーラムでは、東日本大震災や能登半島地震などの実際の現場で指揮にあたった専門家から効率的な情報伝達、組織管理の方法についてお話いただきます。また、能登半島地震で避難所運営に携わった方に当時の状況や課題などについてお話をお聞きます。四日市市からは、トイレの確保・設置、その後の処理・処分まで、関係者・部局間などで連携した災害時のトイレ対応に関する取り組みについてご発表いただきます。備えから使用・管理・処理までの一体的な災害時のトイレ対応のあり方について、理解を深めたいと考えております。

災害用トイレの展示会も併催しますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

フォーラムの概要

名 称 防災トイレフォーラム 2026 in 四日市

全員参加で取り組むトイレ対策、災害時のトイレの備えから使用・管理・処理までを考える

日 時 2026 年 10 月 16 日 (金)

開 場 ・ 受 付 10 : 00

フ ェ ェ ラ ム 13 : 00 ~ 16 : 15

会 場 四日市市文化会館 第 2 ホール

参 加 費 無 料

定 員 500 名

主 催 特定非営利活動法人日本トイレ研究所
災害用トイレ普及・推進チーム

共 催 四日市市

後 援 三重県

申込方法 右記の二次元コードをご確認ください

お申込は
こちらから



フォーラムプログラム

10:00 【開 場】災害用トイレの展示見学

携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ、マンホールトイレ、自己処理トイレなどの災害用トイレを展示します。技術的な相談にも対応します。

13:00 【開会挨拶】

森 智広 氏（四日市市 市長）

13:10 【趣旨説明】災害時の“トイレ問題”が健康被害を招く～能登半島地震から学ぶトイレの備えに必要なこと～ 加藤 篤 （特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事）

災害時、トイレの不備や衛生環境の悪化は、脱水や感染症など深刻な健康被害につながります。能登半島地震のトイレ事情を参考に、なぜトイレ問題が起こるのか、在宅避難に欠かせない市民一人ひとりができる備えとは何か、避難所での具体的なトイレ運用方法について解説します。いざという時に「困らない」ための実践的なヒントをお伝えします。

13:30 【講 演】災害時、“誰が何をするか”は命にかかわる～避難所で活かす“混乱しない仕組み”のつくり方～ 秋富 慎司 氏（金沢医科大学 救急医学講座 特任教授、石川県医師会参与）

東日本大震災や能登半島地震などの実際の現場で指揮にあたった経験をもとに、災害時に起こる「混乱の正体」と、その解決方法を解説します。災害現場では「誰が何をするのか」が曖昧なために混乱が生まれます。そこで重要になるのが、立場の違いを越えて情報を共有し、役割を整理する考え方です。市民や避難所運営に関わる人が活かせる方法を紹介します。

14:20 【休憩および災害用トイレの展示見学】

携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ、マンホールトイレ、自己処理トイレなどの災害用トイレを展示します。技術的な相談にも対応します。

14:50 【発 表 1】能登半島地震における避難所運営～想定5倍の避難者が押し寄せたときのトイレ問題～ 殿田 恵子 氏（輪島市 健康福祉部 子育て健康課 課長）

能登半島地震の避難所・輪島市ふれあい健康センターには、当初想定していた避難者数の5倍となる700人以上が避難しました。トイレ衛生については、特に高齢者は階段を下りて雪が降る屋外のトイレを利用することや初めて見る災害用トイレを使いこなすことは容易ではありません。避難所運営（トイレ・食事・睡眠等）で役に立った取り組みや課題についてお話しいたします。

15:30 【発 表 2】四日市市の災害時における取り組みについて

本田 敦 氏（四日市市 危機管理統括部 危機管理課 副参事兼危機管理企画監）

【発 表 3】災害時における四日市市のし尿処理について

伊藤 慎 氏（四日市市 環境部 生活環境課 課長）

四日市市では、災害時においてトイレに起因する健康被害を防ぐために、災害時におけるトイレの確保及びし尿や使用済み携帯トイレなどの廃棄物処理を速やかに実施するために訓練などを実施しています。多様な主体の連携による、災害時のトイレの備えから使用・管理・処理までが一体となった取り組みについてお話しいたします。

16:10 【閉 会】

※プログラムは変更となる場合がございます

【併催】災害用トイレの展示会

避難所では時間経過に応じて複数タイプの災害用トイレを組み合わせて対応することで、切れ目なくトイレを確保することが必要です。携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ、マンホールトイレ、自己処理トイレなどの災害用トイレを展示します。技術的な相談にも対応します。

日 時 2026年10月16日(金) 10:00~16:00

会 場 四日市市文化会館 第4ホール

会場では以下の種類の災害用トイレを展示します。(展示物は変更になる可能性があります)

携帯トイレ

災害で断水しても
建物内のトイレを利用できる



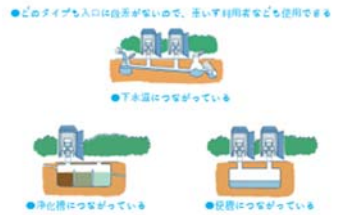
簡易トイレ

災害時、トイレが足りない
ときはこれで安心



マンホールトイレ

災害時、専用のマンホールに、
トイレを組み立てれば完成



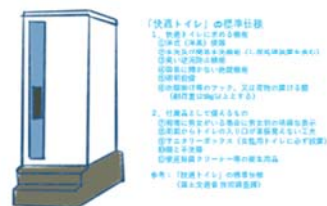
仮設トイレ (組立型)

災害時、すぐに
組み立てられる仮設トイレ



仮設トイレ (ボックス型)

ワンランク上の仮設トイレを
「快適トイレ」という



自己処理型トイレ

停電・断水時に使える
循環式の水洗トイレ



車載トイレ

必要な場所へ移動し、
トイレを提供できる



災害対応型常設トイレ・便器

災害時にもトイレ機能を
継続することができる



衛生関連製品

トイレとセットで、
衛生用品や防臭・防虫剤を
備えよう



災害用トイレ普及・推進チーム 参画企業一覧 (出展予定)

アロン化成(株)
URIMAT Japan(株)
(株)クボタケミックス
(有)四国浄管
スターライト工業(株)
(株)セットアップ横浜
ニシム電子工業(株)
東日本セキスイ商事(株)
北勢工業(株)

(株)伊勢藤
(株)カンキョウ
クリロン化成(株)
G テクノ(株)
(株)スマイル・ブラザーズ・ジャパン
(株)総合サービス
(株)ニード
(株)ビー・エス・ケイ
(株)MOSHIMO HACK

(株)井戸屋
(株)キガ
(株)ケンユー
JP ホームサプライ(株)
積水化学工業(株)
長島鋳物(株)
日本セイフティ(株)
日之出水道機器(株)
無臭元工業(株)

会場アクセス

四日市市文化会館

〒510-0075 三重県四日市市安島 2 丁目 5-3 (<https://yonbun.com/access/>)

電車でお越しの場合

- 「近鉄四日市駅」または「あすなろう四日市駅」から徒歩 10 分
- 「JR 四日市駅」からタクシーで約 10 分

バスでお越しの場合（近鉄四日市バス停より）

- 「近鉄四日市駅」西口より三重交通バス
 - ・2 番のりば「三重団地」「四日市消化器病センター」「あがたハイツ」「近鉄高角駅」行き
【文化会館前】下車で徒歩 5 分
 - ・3 番のりば「悠彩の里」行き 【文化会館前】下車で徒歩 5 分
 - ・3 番のりば「桜花台」「桜リサーチパーク」行き 【文化会館南】下車で徒歩 5 分
- 「近鉄四日市駅」南口より三重交通バス
 - ・4 番のりば「福王山」行き 【文化会館前】下車で徒歩 5 分
 - ・5 番のりば「市立病院」行き 【文化会館前】下車で徒歩 5 分
- 「近鉄四日市駅」南口より三岐バス
 - ・4 番のりば「山城駅」行き 【文化会館前】下車で徒歩 5 分
 - ・4 番のりば「暁学園駅前」行き 【文化会館前】下車で徒歩 5 分
 - ・4 番のりば「四日市大学・看護医療大学前」行き 【文化会館前】下車で徒歩 5 分

お車でお越しの場合

- 東名阪自動車道四日市 IC より約 15 分（7km）



事務局 特定非営利活動法人 日本トイレ研究所（担当：島村、堀田）

〒105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 5-1 IMC ビル新橋 9F

TEL 03-6809-1308 / FAX 03-6809-1412 / www.toilet.or.jp/toilet-guide